

事業コード	H25-建-継-28		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地すべり対策事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防事業		班 名	砂防・防災班 (tel) 018-860-2519
路線名等	谷地		担当課長名	河川砂防課長 齋藤 春美
箇所名	雄勝郡東成瀬村谷地		担当者名	副主幹(兼) 班長 鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

## 1. 事業の概要

事業期間	S48 ~ H28 (46年)		総事業費	51.4億円	国庫補助率	1/2
事業規模	集水井工30基、集水ボーリング24,645m、排水トンネル848m、押さえ盛土工454m3、護岸工180m					
事業の立案に至る背景	<p>当地区は、東成瀬村谷地地区に位置し、東西1,300m、南北950mに及ぶ大規模な地すべりで、古くから地すべり被害を受けてきた。再度地すべりが発生した場合、一級河川成瀬川を埋塞させ、下流の集落、耕地、及び国道342号に甚大に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>昭和46年の着手以来対策工事を行い、沈静化傾向にはあるが、今もなお融雪期には最大で5~10cmの変動が発生している。このようなことから、地すべり防止施設整備をもって住民の生命・財産を保全するものである。</p>					
事業目的	<p>【主たる目的】 地すべりの原因となる地下水を集水井工、集水ボーリング工等により排除するとともに、排土工、押さえ盛土を施工して地すべり災害の拡大を防止し、民生の安定を図る。</p> <p>【保全対象】          人家241戸、耕地126.5ha、橋梁22橋、1級河川成瀬川、一般国道342号11,678m          村道22,201m、農道12,002m、東成瀬村克雪センターほか9公益施設</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		5,000,000	5,140,000	140,000	
	経費 内訳	工事費	2,985,000	3,095,000	110,000	
		用補費	40,000	40,000	0	
		その他	1,975,000	2,005,000	30,000	
	財源 内訳	国庫補助	2,500,000	2,570,000	70,000	
		県債	2,250,000	2,320,000	70,000	
		その他	0	0	0	
一般財源		250,000	250,000	0		
事業内容		対策工事 調査観測 計画設計 用地補償	対策工事 調査観測 計画設計 用地補償		地すべりブロック端部の侵食対策として護岸工を増工	
事業の進捗状況	全体計画 51.4億円 平成24年度末時点投資額 49.9億円 進捗率 97%					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」において、5つの戦略を支える横断的取り組みの(4)社会資本整備の推進の中に、「水害・土砂災害への対応力強化」が位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	当地区は、地すべり区域が広範囲なことに加え、変状の発生が活発なため、対策に長期間を要している。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率				
	指標式	土砂災害危険箇所整備率=概成箇所数/危険箇所数				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無	
	目標値 a	24.7 %		データ等の出典	秋田県 河川砂防課調べ	
	実績値 b	24 %				
達成率 b/a	97.2 %		把握の時期	平成25年3月		

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	県内最大の地すべり地帯で古くから地すべりによる被害が発生しており、大規模な地すべりが発生した場合は甚大な被害となる恐れがある。このため、地域住民は地すべりの安定化を望んでおり、地すべり防止施設に対するニーズは高い。	20点
緊 急 性	着手以来、地すべり防止施設の整備が進められてきたが、現在も融雪期には地盤の変動が発生しており、早急な地すべり対策の完了により安定化を図る必要がある。	10点
有 効 性	保全対象の変化はほとんどなく、事業の有効性に対する影響はない。	10点
効 率 性	事業の費用対効果は1.49であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値 56.66億円 ・総便益の現在価値 84.45億円 地すべり対策工法は比較的単純な工法が多いため、コストの縮減は困難だが、一方で工法や工事に関する課題はなく、順調な進捗が見込まれる。	20点
熟 度	地元住民及び東成瀬村との合意形成が図られており、順調に事業が推進している。変状の発生により事業期間が延長されているが、平成28年度の完成を予定している。	25点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III ) 各観点において評価点が高く、住民の生命・財産を保全する上でも有利な事業箇所であり、実施すべきである。	85点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト削減に留意しながら事業を継続する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード (H25-建-継-28 )  
箇所名 ( 雄勝郡東成瀬村谷地 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズの変化	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計	20	20		
緊急性	斜面、溪流等の危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
		若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計	10	10		
有効性	保全対象数の変化	変化なしまたは増加している	10	10	
		若干減少している (80%以上)	5		
		非常に減少している (80%未満)	0		
	計	10	10		
効率性	費用便益分析 (B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
	コスト削減計画	課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0	0	
		具体的なコスト削減計画がある	10		
		具体的な計画はないが、検討中である	5		
計	30	20			
熟度	事業の進捗状況	計画どおり進捗している (100%以上)	10	5	
		概ね計画どおり進捗している (70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている (70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	20	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
計	30	25			
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		